



とぴあ
国際音楽祭
参加公演 2019



星降る夜の お伽噺

ハープ弾き歌いと
フルートによる

日本と世界の星と月にちなんだ
美しい曲で紡ぐ音楽絵巻

速海 ちひろ グランドハープ・ソプラノ
森本 英希 フルート

Program

「迦具夜」(委嘱初演作品) 平野一郎作曲
「荒城の月」(寺嶋陸也 編曲) 滝廉太郎作曲
星めぐりのうた(宮沢賢治「双子の星」より) 林 光作曲
きらきら星変奏曲 モーツァルト作曲 ほか

〈全席自由〉

2019年7月15日(月・祝)より販売開始

一般 3,000円 ペア券 5,500円

北区民割引 2,700円 北とぴあ1階チケット売場のみお取り扱い
東京都北区在住が確認できるもの(免許証等)ご提示いただきます

U-25 2,000円 学生証等年齢が分かるものをご提示いただきます

* 未就学のお子様のご入場はお断りさせていただきます。

* 車いす席をご希望の方は発売日より

(公財)北区文化振興財団[03-5390-1221(平日9:00~17:00)]へご予約ください(数に限りあり)。

チケット販売

- オフィスサワイ: TEL/FAX 03-5944-5157 info@officesawai.com
- 東京古典楽器センター: 03-3952-5515
- 北とぴあ1階チケット売場: 窓口販売のみ 10:00~20:00
臨時休館日は18:00まで 全館休館日は休業
- <https://eplus.jp/>

2019 11.22 (金)
19:00開演 18:30開場
北とぴあ つつじホール



それは、心に染みる癒しの音楽。

「音楽でこれほど癒されたことはなかった」

「今までの人生が洗い流されるような、癒しと感動に満ちた貴重な時間でした」

「とても優しい気持ちになりました」

「日ごろの煩わしさや疲れが吹き飛んで、夢のようなひと時を過ごさせて頂きました」

「ハープとフルートなのに和楽器の香りがした」(「公演アンケート」より抜粋)

2018年、国内コンクールでアンサンブルとして最高位受賞をきっかけに本格的に活動を開始、京都を拠点に活動している速海ちひろと森本英希のユニットが、初めて東京で大規模な公演をさせていただくことになりました。グランドハープを奏でながら歌う速海ちひろは、西洋の音楽だけでなく、日本語の歌にも意欲的に取り組んでいます。また、バロック音楽や現代音楽を得意とするフルートの森本英希は、このユニットにおいては時には風のように、星の光のように表現を深め、イメージを広げる役割を担っています。一昨年、寺嶋陸也氏が彼らのために作曲した、新美南吉の詩による「お伽噺」は、京都・三重・岡山で好評を博し、さらに海外でも反響を呼んでいます。このたび、平野一郎氏にかぐやの伝説に基づく歌物語「迦具夜」を委嘱、本公演にて披露いたします。星や月にまつわる美しい古今東西の音楽をどうぞ、お楽しみください。

Profile



速海 ちひろ はやみ・ちひろ
グランドハープ・ソプラノ

幼少から音楽・演劇・バレエを学ぶ。その後、一時は古典芸能(地唄・箏曲・地唄)の世界に身を置きつつも、奨学金を得て英・仏に留学。シャーロット・シール、キャトリーヌ・ミシェルらに才能を見出され、わずか数年のうちに、国際コンクールやマスタークラスで優勝・受賞を重ねる。その後、名ハープ教師ジェルメーヌ・ロレンツィーニのもとで研鑽を積みつつ、歌手としても精進を重ね、ハープと声楽を組合せた“グランドハープ弾き歌い”を開拓。現在、その第一人者として、国内外で活躍の場を広げ注目を集めている。2004年、イザベル・モレッティ氏を初めて日本に招き、「京都日仏ハープ塾」を設立・開催。その後、「京都フランス音楽アカデミー」にハープクラス開設の道を拓くなど、ハープ界にも大きく貢献。2010年、レジオンドヌール叙勲式にて日仏国歌独唱を務める。2014年、イザベル・ペラン氏の推薦により「第12回世界ハープ会議」に出演、絶賛を浴びる。2018年、岐阜国際音楽コンクールアンサンブル部門にて、森本英希とのデュオで最高位受賞。今年6月、好評を博した台湾国際ハープフェスティバルの他、今後も国内外の音楽祭に出演予定。立教大学仏文学科出身。



森本 英希 もりもと・ひでき
フルート

京都市立芸術大学修士課程修了。現在、テレマン室内オーケストラ首席フルート奏者。その他にも、京都バロック楽器アンサンブル代表、アンサンブル・リュネットリーダー、ネクスト・マッシュルーム・プロモーション団員。2010年度大学院市長賞、2012年日本フルートコンヴェンションコンクールアンサンブル部門第1位、2017年京都芸術祭京都新聞社賞、2018年岐阜国際音楽コンクールアンサンブル部門最高位など、受賞。幅広い経験に裏打ちされた彼の演奏は、フルートから様々な音色を引き出す力を持ち、その時々に対応しい世界を創造する表現力を持っている。これまでに、ライブソビヒ・バッハ・フェスティバル、丹波の森国際音楽祭、韓国国際音楽祭、武生国際音楽祭、仙台リコーダーフェスティバルなどに、ソリストとして出演。また、フルート・リコーダー・篠笛等様々な笛を持ち変えることのできる稀有な奏者でもあり、個性あふれる演奏会やワークショップを全国各地で行っている。これまでにフルートを安藤史子、伊藤公一、大嶋義実、白石孝子の各氏に師事。古典フルート奏法を竹林秀憲、リザ・ベズノシウク、マルク・アンタイの各氏に学ぶ。また、能管を左鴻泰弘氏に、篠笛を藤舎貴生氏に師事。